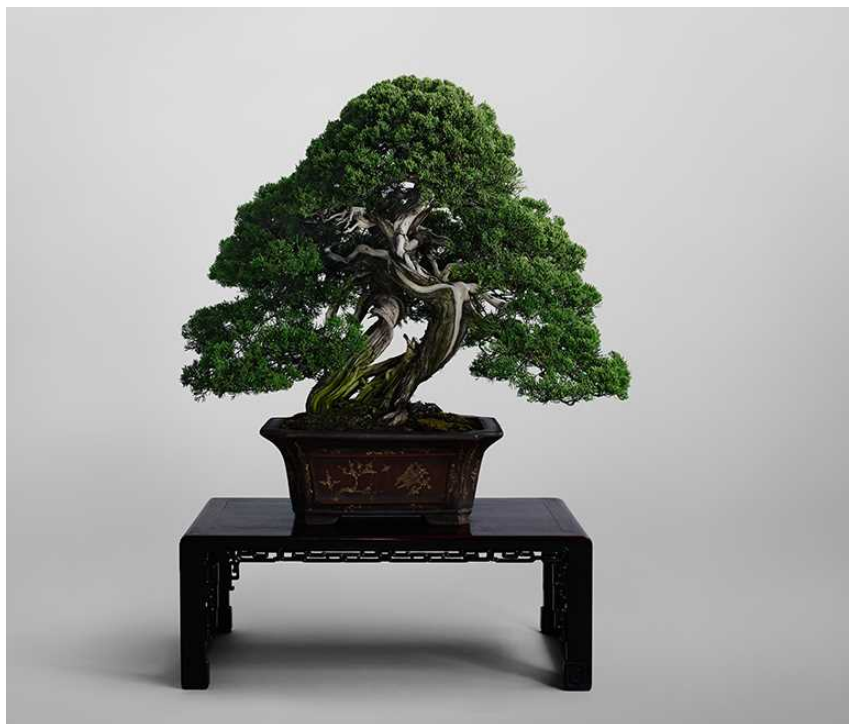


「OMIYA BONSAI Marché(大宮盆栽マルシェ)」
歴史ある地元産業をみんなで盛り上げる、楽しむ5日間！

大宮
OMIYA
BONSAI



画像提供:さいたま観光国際協会

浦和PARCOは、歴史ある地元産業を浦和の街の人々に身近に触れていただきたいという思いのもと、大宮盆栽協同組合・さいたま観光国際協会とタッグを組み、「大宮盆栽マルシェ」を初開催いたします。

1923年におきた関東大震災で被災した東京の盆栽業者が、盆栽づくりに適した広い土地、新鮮な水と空気を求めて、今のさいたま市北区盆栽町に移住。戦後、大宮盆栽村の名は世界中に轟き、外国人団体の見学、海外の盆栽愛好家からの講習希望はもちろん、世界各国の要人も大宮盆栽村を訪れ、国際観光地としても知られています。

タイトル: OMIYA BONSAI Marché(大宮盆栽マルシェ)

期間: 2021年3月17日(水)～21日(日) 5日間 10:00～20:00

会場: 浦和パルコ 1F特設会場

大宮盆栽協同組合の皆様と組むのは、今回が初めてとなります。もっと浦和、地元のみなさまに見ていただきたい、知っていただきたい、との願いが届き実現いたしました。

盆栽の聖地「大宮盆栽」が使用する植物は、松柏類、雑木類、草物と多種多様。それを手がける盆栽師の技と美意識によって、一鉢ごとに異なる盆栽に創り上げられます。今回は6つの盆栽園の盆栽をご覧、ご購入いただけます。芸術的な盆栽から、部屋のインテリアにぴったりなお手頃価格の盆栽まで、約300鉢ご用意いたします。

1,000～3,000円のお手頃価格の盆栽も多数、春の箱庭をご自宅でお楽しみください。

最後に、国内外からの観光客の来訪が難しい今、私たちの街の地場産業に目を向け、一緒に盛り上げ、維持しようとの浦和PARCOの思いもお届けします。

<本件に関するお問合せ先>

(株)パルコ 浦和店 営業課 室井・田熊

TEL:048-611-8001/FAX:048-611-8020/mail:muro-yuki@parco.jp(室井) taku-yosi@parco.jp(田熊)

<盆栽園のご紹介>



清香園 Seikou-en 園主 山田 登美男

嘉永年間(1848~54)に江戸で創業し、1943年に大宮盆栽村に園を構えました。
江戸前の技を大切に、季節感や風流、味わいのある洗練された美を追究しています。
当園オリジナルの彩花盆栽は、古瓦に草木が自然に芽吹いた様子に心惹かれ、考案したものです。
開園(大宮移転):1943年 3代目園主:山田釜次郎



藤樹園 Toju-en 園主 浜野 博美

盆栽を育てることを楽しんでいただけるよう、当園では一般の方を対象にした盆栽教室を1966年から開催しています。身近に盆栽を置いていただけるよう、人気の五葉松や小品盆栽を数多く手がけているのもそのためです。
ぜひ、ペットを育てるような気持ちで盆栽の声を聞きながら、代々大切に育てて欲しいと願っています。
開園:1931年 初代園主:浜野元介



芙蓉園 Fuyo-en 園主 竹山 浩

昔から「雑木の芙蓉園・寄せ植えの芙蓉園」といわれ、雑木盆栽と寄せ植えに力を入れてきました。
雑木には色々な樹種があり、春の新緑、秋の紅葉や実り、冬の枝振り、四季を通じて楽しめます。
寄せ植えにすれば、そこに林の風景を作り出すことができます。松柏が男性的なのに対し、雑木は女性的。しなやかで柔らかな風情が楽しめます。
開園:1939年 初代園主:竹山房造



蔓青園 Mansei-en 園主 加藤 崇寿[晴彦]

五代・170余年に渡る盆栽園。
樹齢千年を越える真柏を始め、名品盆栽から表情のある小品盆栽、水石・卓・諸道具を豊富に取り揃えています。
現代数寄屋の床の間等の展示空間で、盆栽と水石を園芸でなく美術として、設え[室礼]で審美眼を深め合う喜びを追求。盆栽を鑑賞と愛培の両面より楽しむ提案をしています。
開園(大宮移転):1925年2代目園主:加藤留吉、3代目:三郎、4代目:初治



松雪園 Shosetsu-en 園主 黒須 輝夫

自分で作ったものを後世に残したいとの思いから藤樹園で修行し、独立して松雪園を開きました。
主催する盆栽教室では「空間有美」をテーマに、生命あるものを育てる喜びを「盆栽道」として伝え、その傍ら陶芸文化振興財団の理事長として、毎年展示会に盆器を出品しています。
開園:1977年



九霞園 Kyuka-en 園主 村田 勇

江戸時代の浮世絵などを見ますと、この時代にこのような植物があったのかと驚かされることがあります。
当時の人たちが様々な種類の植物を愛でていたように、当園では得意の添え草をはじめ、外来植物や園芸植物など300種を越える盆栽を培養しています。それらの盆栽をより自然に見えるよう、鉢の入れ方にもこだわって手入れしています。
開園:1929年 初代園主:村田久造

<本件に関するお問合せ先>
(株)パルコ 浦和店 営業課 室井・田熊
TEL:048-611-8001/FAX:048-611-8020/mail:muro-yuki@parco.jp(室井) taku-yosi@parco.jp(田熊)

<参考資料:これまでの浦和PARCO × 地域の取組み>

■地元・埼玉との取組み

「今日からの暮らし」(1/9～11)

埼玉県・北本市のキュレーターの方と企画し、埼玉の素敵なショップを集めたマルシェを3連休で開催。



「ミンドウルレ」(11/26～12/2・2/6～15)

埼玉県・茨城県・栃木県でベーカリーを販売する「ポンドール」がつくる韓国マカロンの「ミンドウルレ」が初出店。



■観光地域との取組み

「葉山物産展」(7/3～12)

神奈川県・葉山市のショップの集合マルシェを開催。観光客が少ない中、浦和と葉山の出会いの場となった。



「八幡屋磯五郎」(2/17～28)

長野県・善光寺発の七味唐からしで有名な「八幡屋磯五郎」が初出店。これまで善光寺へ旅行に行き購入していた方が多く見られた。

